

京都

KYOTO

不思議ふしぎ!?

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

京都検定

京都・観光文化検定試験
京都商工会議所

京の珍桜、大集合！

桜の便りと共にまたまた華やかな都の春が始まります。今回は桜王国・京都の少し珍しい桜をご紹介します。

京北町の春日神社門前の「百年桜」も変わっています。なんと一本の木に二重と八重の花が同時に咲くのです。

珍しいといえやはり京都御苑の「桜松」。枯死して倒れたクロマツにヤマザクラが棲みついて、幹を貫いて根を張り、毎年旺盛な花を咲かせているのです。建春門の東側にあり、春の桜花もいですが、秋の照葉も実に素晴らしいです。

樹齢約三百五十年、この桜の苗木を大阪造幣局の通り抜け百年の記念に植樹したためこの名がつけました。

の寄付で始まったのがゑんま堂狂言と伝わります。普賢象桜は二尊院にもありますが、ゑんま堂は里桜系、二尊院のは糸桜系でともに見事です。

日蓮宗寺院に多く植えられている「お会式桜」もやはり珍しいもの。毎年日蓮の命日（十月十三日）前後に咲き始め、一冬中花をつけ、花祭（四月八日）頃に満開となる桜で、寺ノ内の妙蓮寺では紅葉と桜のツーショットが見られます。

変わりものといえ、千本ゑんま堂の「普賢象桜」。

花の蕊が象の鼻のように長く垂れているための名前。この八重桜を愛でた足利義満

周りが何と三二五メートル！もちろん京都市内最大で、幹周三メートル以上のソメイヨシノは関西以西には十本しかないのですから必見です。

皆様もこの春は一味違う都の桜を探してみたいかがですか？

（京都学園大学非常勤講師 堤勇二）



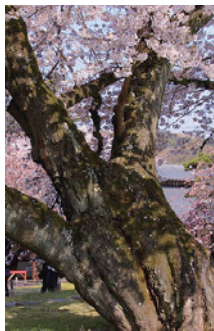
京都御苑の桜松



春日神社前の百年桜



千本ゑんま堂の普賢象桜



醍醐寺霊宝館前のソメイヨシノ



妙蓮寺のお会式桜（11月13日撮影 背景は紅葉）